

## 完工急ぐローシンマンダム工事

香港の水不足は世界的に有名である。それは東京の比ではなく、給水時間は最も条件のよい雨期でさえ、1日2時間である。乾期の給水は4日に1回、しかも2時間だけというきびしさで、いかに水不足が深刻なものであるか想像できよう。この水不足を解消するために、香港政庁により計画されたのがプロバーコープ計画で、この計画の第1期工事として1962年5月着工したのがローシンマンダム工事である。ダムはセンターコア式のアースロックフィルダムで、着工以来1年有余、工事は着々とすすんでいる。一方、人口の増加は水の供給能力をはるかに上まわり、一日でも早い完成が望まれるようになり、ここに香港政庁は工期を7ヵ月短縮することを決定した。そのため3ヵ年の工期は2年5ヵ月となり、昭和39年8月完工を目標に突貫工事に入ったわけである。写真は50%完成したローシンマンダムの全景である。

ダム諸元	ダム天端長	250 m	ダム立	コア	154 000 m <sup>3</sup>
	ダム高さ	55 m	積内訳	フィルタ	144 000 m <sup>3</sup>
	ダム立積	1 160 000 m <sup>3</sup>		ショルダ(アース)	612 000 m <sup>3</sup>
				ロック	250 000 m <sup>3</sup>

所在地：香港九龍新界沙田  
 発注者：香港政庁  
 施工者：西松建設株式会社



西松建設株式会社提供

ローシンマンダムのトンネル——仮排水路、および導水路の現場はカコウ岩である。というよりは香港九龍地区は、その大部分がカコウ岩かカコウ斑岩である。

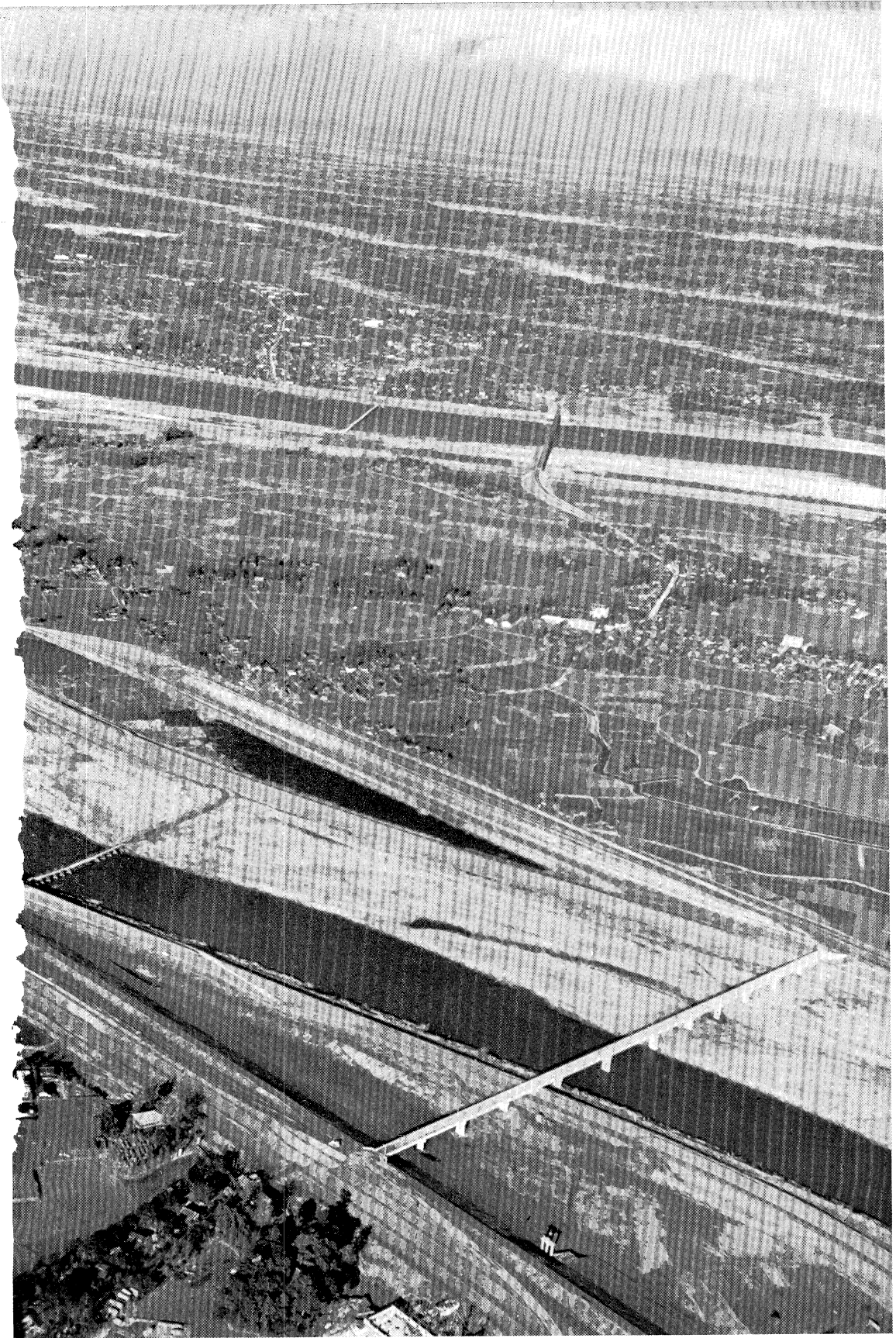
ひとくちにカコウ岩といっても、その硬度は日本内地で考えている硬さをはるかに超えるものであり、日本国産のビット、削岩機では歯がたたない。しかも、困ることに香港の中国人は坑内に入ることを何よりも嫌う。これは昔からの言い伝えによるらしいが、この種の工事が多くないため不なれなことも考えられる。こんな些細なことからして、内地の現場では想像もできない苦勞がともなう。一般中国人の作業態度はおおよそ大陸的で、突貫工事とは、おおよそえんが遠い。写真で見ることのできる現場は、内地のそれと何の変わりもないが、その完成の日、喜こぶであろう香港市民の顔を想像して建設にはげんでいる。堀削断面  $35\text{m}^2$ 、延長は  $2000\text{m}$  である。

発注者：香港政庁  
施工者：西松建設株式会社

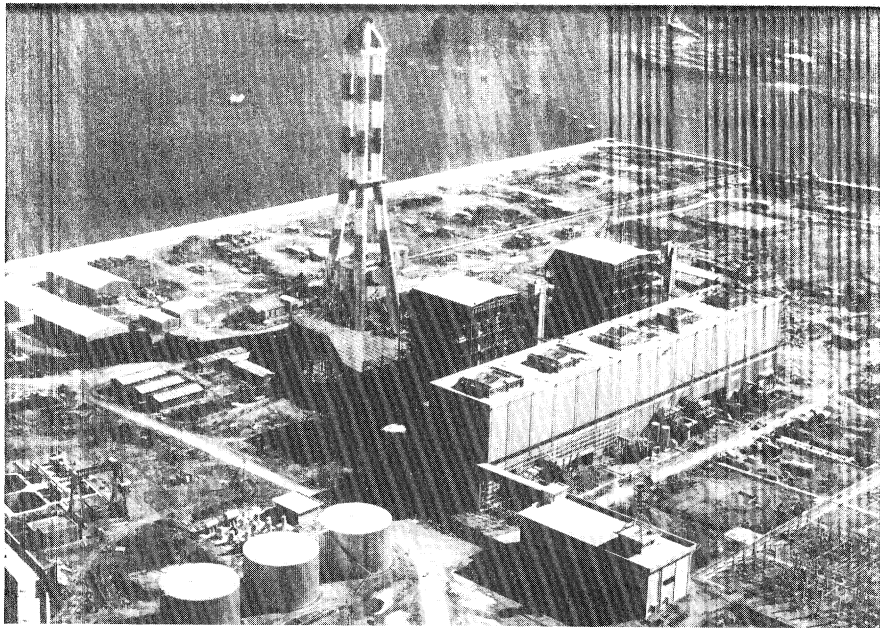


境大橋・関宿橋完成

(本文ニュース欄参照・下が境大橋、上が関宿橋)

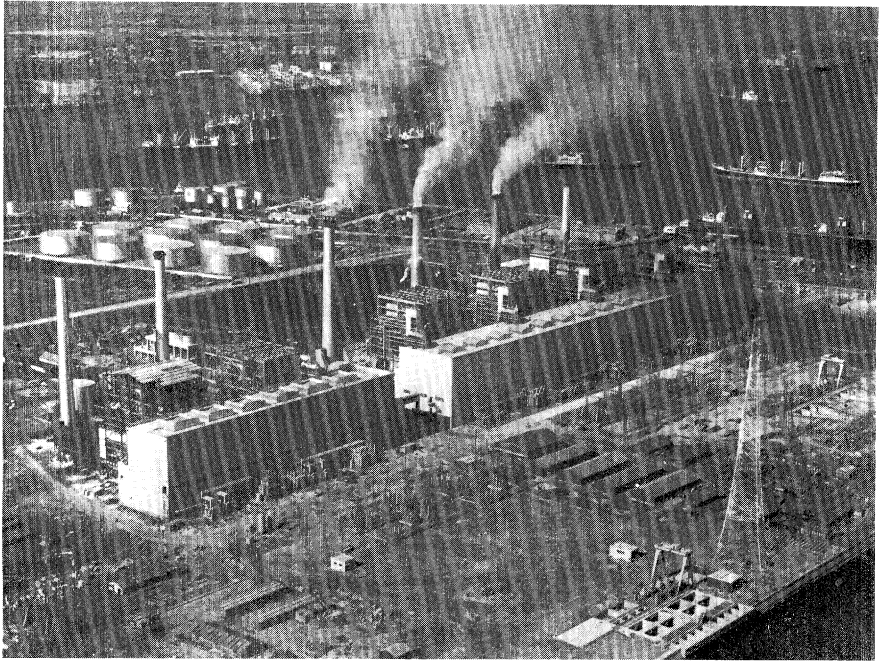


写真：朝日新聞社提供



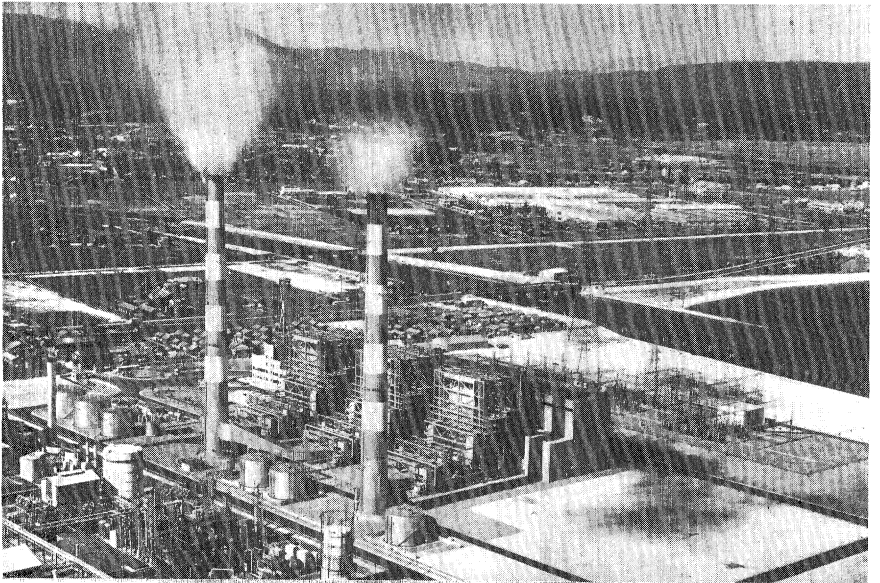
### 1. 尾鷲火力発電所

一軸式として世界最大のユニット出力 375 000 kW、設計熱効率（発電端）39.9%、発電機固定子に水冷却方式を採用、重油専焼方式の採用など数々の特長を備えた本火力発電所は、8月の第1期、10月の第2期の発電開始を目標に建設がすすめられている。敷地面積約 330 000 m<sup>2</sup> を誇る当発電所は、10万 t 級の船舶の入港が可能な有利な地点にあり、10月完成時の発電出力は 750 000 kW(375 000 kW × 2基) となる。なお、ボイラー煙突は火力発電所用としては最高の 120mの高さで1,2号機ユニット各2本、計4本の集合煙突という日本最初の特種構造で、1, 2期の総工費は 350 億円といわれる。



### 2. 新名古屋火力発電所

本年4月に完成する6号機を含め、最終出力1 256 000 kWとなる本火力発電所は1～3号機微粉炭燃焼ならびに重油燃焼、4～6号機は重油専焼方式をとる火力発電所であり、その総工費は 613 億円である。



### 3. 四日市火力発電所

四日市市の 231 406 m<sup>2</sup>の敷地に国産技術の粋を集めて建設された本発電所は、尾鷲火力発電所とならぶ 120mの高さの煙突を誇る伊勢湾臨海工業地帯のエネルギー源である。本発電所は 267 億円の総工費を要して建設されたもので、その総出力は 660 000 kW である。

# 中京経済圏の展望によせて

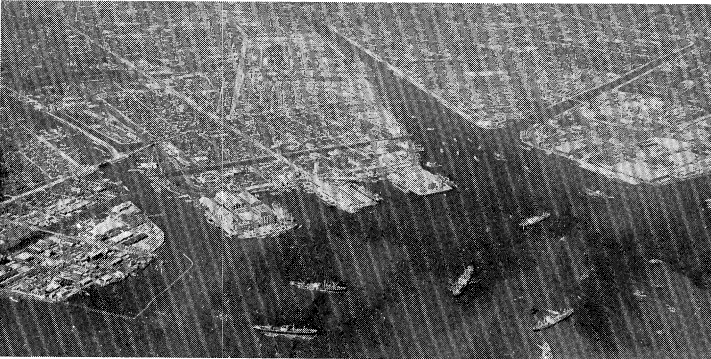


4. 躍進する四日市港

5. 中京経済圏の中心、名古屋市と名古屋港

6. 午起コンビナート

昭和38年11月6日、四日市市<sup>うまおし</sup>午起コンビナート完成の日に写したものである。



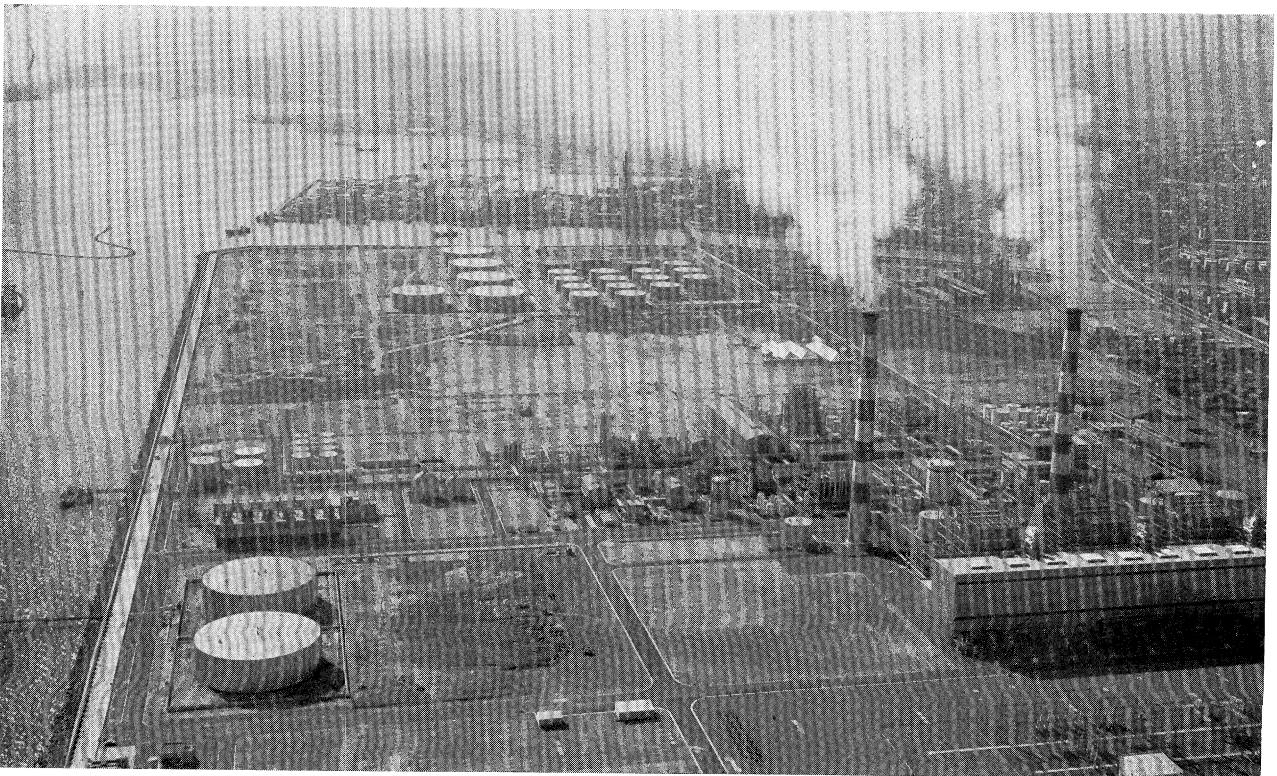
1		4	
2		5	
3		6	

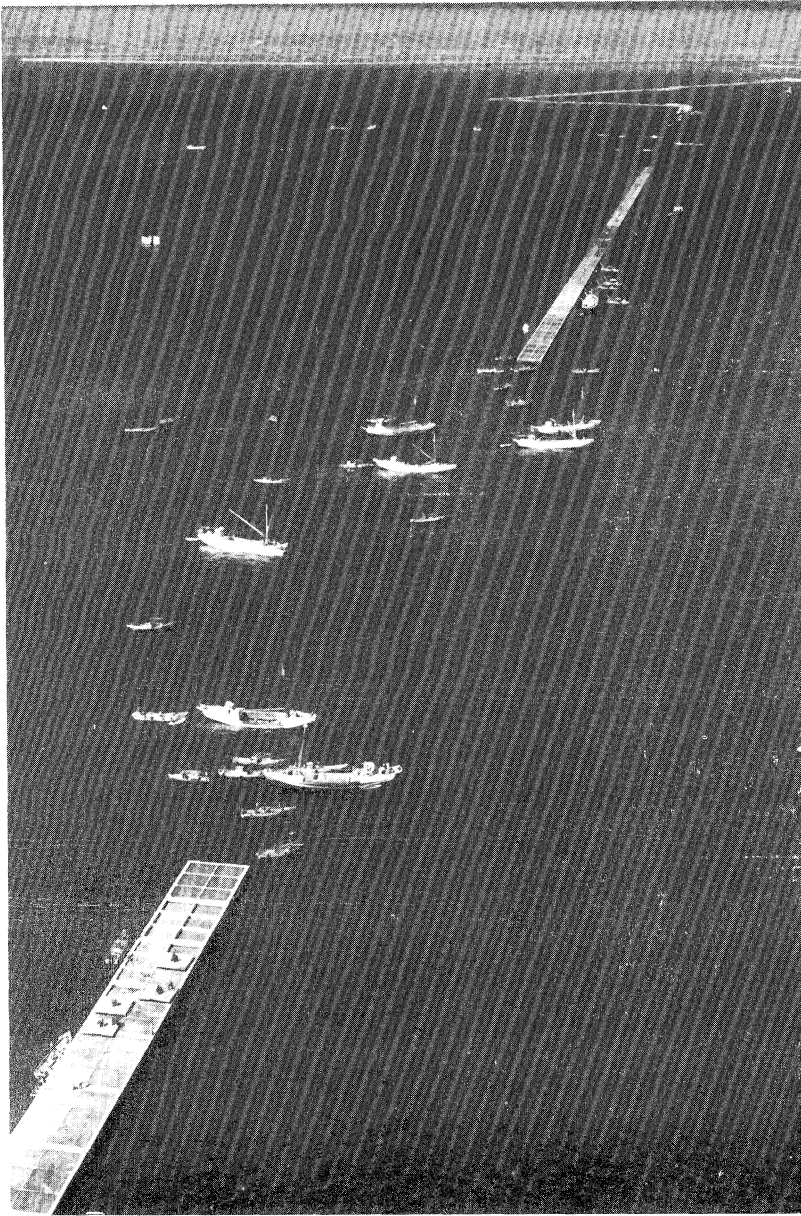
写真-4 四日市市役所提供

写真-5 名古屋港管理組合提供

写真-6 中部日本新聞社提供

写真-7,8 運輸省港湾局提供





7	8
	10

7, 8 建設  
すすむ伊勢湾  
高潮防波堤  
伊勢湾台風  
級の高潮から  
臨海地帯を防  
護するために、

昭和37年度初めに着工したもので、鍋田、横須賀間約 8 km にわたって工事がすすめられている。

#### 9 東海道新幹線岐阜羽島駅

東海道新幹線と交差するのは建設中の名神高速道路で、当羽島駅は東京起点 365~368 km のところにある。

#### 10 東海道新幹線 第2六番町架道橋

東京起点 336~337 km 地点にあり、その仕様は複線ローゼ桁、支間 85.2 m、全長 86.4 m、重量 607 t の橋梁である。

